

大学生有望選手リスト

京滋大学リーグ

京都先端科学大	中堅手	後藤 光喜	4年	綾部	173	72	右	△ スピード感のあるプレーが魅力的。
花園大	投手	小林 純大	4年	栗東	185	81	左	△ 昨年は肩のケガに苦しんだ。大型の左腕から150キロは大きな強み。今年は復活できるか
		藤原 聡大	4年	水口	177	75	右	○ 155キロの速球を投げる関西屈指のスピード投手。勝負力も素晴らしく、守備も粘り
		森田 大翔	3年	京都国際	173	66	右	△ 運動感のあるフォームからスピンの効いたストレートを投げ込む。来季エースとして期待
	一塁手	平中清太郎	2年	龍谷大平安	177	80	左	△ 鋭いスイングで安打を量産して昨秋は首位打者を獲得。後足生かして左走りに注目
びわこ成蹊スポーツ大	中堅手	佐藤 功太	3年	三本松	178	68	右	△ 俊足を飛ばして鋭い打球にも追いつく。打球にもセンスを感じたスリート型外野手
佛教大	投手	木暮 晴哉	4年	天理	190	84	右	○ 長身を生かした角度ある投球で四隅を突く。高校同期の澤本(日)に迫り投げ合い越え
		合本達太郎	4年	高田南	180	80	右	△ 140キロ後半半のストレートとタテ変化で低振を駆使した高水準の高い投球が持ち味
	左翼手	嶋友成	2年	京都成章	178	80	右	△ 昨秋に飛躍した左巧の巧手。自分の力で打つことができ、滞空時間の長い打球が放つ
	投手	杉本 瑛成	3年	京都成章	173	72	右	△ 関西を代表する二刀流。以前、他大学に1年半在籍しており、今春がラストシーズンとなる

広島六大学リーグ

近大工学部	投手	岡村臣太郎	4年	相生	187	87	右	△ 昨秋はリーグの最優秀選手受賞も神宮大会で四国代表決定戦で苦戦。高みへの強い意識を
		伊藤慶太郎	3年	今治北	180	85	右	△ 制球、スタミナに課題も、140キロ後半のボールは魅力。常時150キロの壁に挑んでいく
	捕手	森本 凱斗	2年	城東	170	70	右	△ 二塁送球で2秒出切る強肩を生かし昨秋リーグ戦で正妻奪取。打撃と体勢は鍛えられた余地あり
広島経済大	投手	川竹 巧真	3年	高知	178	89	右	△ 昨秋はリーグ戦出場はなかったものの、今春から二刀流の可能性大。投打にパワフルな男
	二塁手	秋田 成輝	4年	矢上	168	70	左	△ 昨秋、二塁手に定着すると、一気に初の首位打者を獲得した。盗塁成功率の向上が課題だ
	遊撃手	渡邊 颯人	2年	おやかま山陽	175	78	右	△ しっかりトランプを打ち、思い切りのスイング。昨秋リーグ戦では3本塁打奪得もOPS10割超
広島修道大	遊撃手	梶山 暖	2年	武田	167	67	右	△ 縦横無尽に動ける少体勢を崩してもアウトにできる体幹の強さ。昨秋は先頭打者弾も

中国地区大学リーグ

環太平洋大	捕手	竹内 裕哉	4年	広島	172	72	右	△ 昨秋は徳山一翔(薬)らの投手陣を好リード。2秒前後の二塁送球タイムの向上を目指す
	中堅手	佐藤 秀吾	3年	智志野	184	79	左	△ スケール大きな打撃は佐藤雅明(神)を思わせる。長打力や守備・走塁を積み上げよう
吉備国際大	投手	池島 涼太	3年	京都翔英	172	83	右	△ 力も癒え昨秋リーグ戦(復活)の兆し。先発で常時140キロ後半を出せる土台を作り上げる
	中堅手	立川 颯汰	3年	大分藤蔭	175	80	右	△ 打撃面は成長過程にあるが、守備と肩はリーグトップレベル。チームを引っ張る存在に
至誠館大	投手	青藤 颯哉	3年	大阪電通大高	180	86	右	△ 登板ごとに状態の異なる幅があるものの、140キロ後半を出せるスベックあり。安定志向に
東亜大	捕手	池原 亮克	4年	糸湯	165	70	右	△ 昨秋から捕手に転向し、1秒9切の二塁送球タイムを連発。経験が備われば上を十分狙える

四国地区大学リーグ

高知工科大	投手	飯田達太郎	3年	広島	178	75	右	△ シュートと風を切るような130キロ超の快速球に飛び道具も良い。昨秋は最優秀防率率
		吉賀球太郎	2年	大手前高松	177	82	右	△ スリークターから140キロ後半の威力球具合コン。中四国代表決定戦で近大工学部破る
	中堅手	高岡 真真	4年	大手前高松	170	70	左	△ 昨年は春秋リーグ戦通算20盗塁も、本塁の威力見ればもっとできる。圧倒的力を見る
四国学院大	投手	川辺 直人	3年	志度	175	70	右	△ 小気味よく腕振ってピッチングコントロールの周りを支配。後輩・川井佳孝もショアと盗塁強さ
聖カタリナ大	投手	岩川慎之介	4年	東温	170	70	右	△ 2024年の春秋リーグで通算130二塁打を放つ。打球アップが最終学年テーマ
聖大	中堅手	西村 友貴	4年	広島島	167	65	左	△ 走攻守にバランスが取れた130二塁打の中堅手。常にバントを執る意識を持ち続けよう

九州六大学リーグ

九州大	投手	石本瑠太郎	3年	姫路西	180	77	右	△ きれいな投げ方から緩急を使ってゾーンの中間を支配。昨秋の初戦で福岡大を5回ゼロ封
九州国際大	右翼手	坪井琉志郎	4年	宇都宮	173	75	左	△ 華越したバットから鋭急を放つ。走塁距離・小塁距離とともに外野陣を牽引
北九州市立大	投手	山下 薫輝	3年	鹿児島玉龍	178	85	右	△ 終盤でも安定感と球威をキープでき要所でストと落として三振取り。新しめエース
	中堅手	黒田 悠真	2年	福工大濠	178	75	左	△ 柔と剛を併せ持つピッチャー。手に汗を流す場面でもよく適時打で打てる勝負強さも
	右翼手	中村 一翔	4年	佐賀北	180	85	左	△ まさかの球も瞬間の反応でバントとヒットにできる。勝負強さもショアと盗塁強さも
久留米大	投手	松田 弦樹	3年	長崎南山	184	72	左	△ 腕が振れて角度があって球がピッチングと伸びる。じっくりと青木球威が安定させたきた
西南学院大	投手	津田 悠平	3年	早稲	180	88	右	△ スドーンとバットを押し込んだかと思いきや芯を抜いて凡打に。制球とクレーバースも兼ね
	右翼手	栗山 雅也	4年	東福岡	190	90	左	○ 乾いた打球音をきかす。飛ばせば芯で飛ばせるロマンチック。エツ、速い運いやるん
福岡大	投手	朝吹 拓海	3年	神村学園	170	80	右	△ あらゆる球種を巧みに操り見事なゲームメイク。小柄ながら腕を振れば150キロもジャン
	左翼手	木村 悠汰	2年	神村学園	175	80	右	△ ひとりで決めた構えから破壊力抜群の猛スイング。追い込まれコースでバントでもピン
	中堅手	藤川 連	4年	広島新庄	180	70	左	△ シートノックの動きや肩などからセンス垣間見える。細身解消して、打撃の成長が楽しみ

福岡六大学リーグ

九州共立大	投手	福川 竜汰	4年	折尾愛真	183	90	右	○ 力がなくシュルシュルと発射するスピード球はもがけが違う。春のカルバックを待てるぞ
	佐々木大雅	3年	情報科学	180	78	左	△ 左利かから140キロ超の厄介な球筋には強打者も首をかしげるレベル。次々と三振奪取だ	
九州産業大	右翼手	吉川 雅泰	2年	小倉	182	84	右	△ 入学直後の事いなきり4発、打点王、センターももて懸た。身体能力が高く走力も強さ
	投手	水崎 康平	4年	沖学園	174	77	右	△ 上からパンパンと決めて安定感抜群の投球。たまに先制を許しても冷静に後援球をピンチリ
	中堅手	大嶋 隼	4年	西日本大付	175	72	右	△ 四隅にスパッと決めて先発でも抑えるも柔軟に対応。2年生・中村大輔の両投手も面白い
日本経済大	一塁手	阿部 謙心	4年	九大六九院	177	70	右	△ 超絶なミート力に加えて打撃力も強い。昨秋は巨人2位の浦田俊輔とともに盗塁王
	中堅手	黄 新誠	3年	日南学園	185	84	右	△ 均整抜群の体躯を生かした力強いスイングから鋭い打球を放つ。脚力と勝負力も兼ね
福岡工業大	一塁手	木村 瑛光	3年	れいめい	176	77	左	△ きれいな球を巧みに操りリターンを支配。手に汗を流すタイフーン。追い込まれコースでもピン
	三塁手	直 直樹	4年	西日本大付	180	83	右	△ パワフルで勝負強い。昨秋、5球ファールで粘るなど11球目放った左翼陣には脱帽です

九州地区大学リーグ

折尾愛真短大	投手	江越 元樹	3年	希望学	178	78	右	△ 日本文理大相手に相手に2失点完投勝利。小気味よく腕を振って終盤も球威が衰えない
近大産業理工学部	投手	田邊 浩介	2年	智辯学園	178	72	右	△ きれいな球を武器に先発、中継ぎ、抑えとフル回転。有腕俊腕と好成績をともにもつ一
久留米工業大	投手	林 怜史	4年	早稲	168	68	左	△ 球を低めに集約してメリハリ効いた投球がキラリ輝く。押守あへんと歩の歩みさ様に
長崎大	投手	持田 匠吾	4年	福岡西大	181	72	右	△ 粘るような140キロ中盤を武器に、鋭い飛び道具も正妻奪取。2部にも入る投手がいたんで
福岡国際大	投手	黒木 優	4年	九州文化学園	185	90	右	△ 鋭い腕振りからミートを突き上げるような剛球がさく裂。さらに安定感が増せば面白そ
		赤木 輪生	3年	渡佐園	180	72	右	△ 高校時代は控えも投手で部を引っ張るメカニクと頭角現す。後輩右腕・半田哲也も好素材
西日本工業大	一塁手	山口達太郎	3年	佐賀学園	180	75	右	△ 1年春から140キロ後半でも即戦力のあるスイングで主眼に。高校の後輩・林翔斗も好材
日本文理大	投手	新永 勇人	4年	宮古	175	78	右	△ 安定的に抑える球威と鋭い変化球を駆使した印象のない投球。先発でも抑えるも能力発揮
		糸原 勉	4年	城北	185	85	右	○ 上から鋭くバチンと響く爽快な球筋。マンガン酸接合を誇る難攻不落のローゼード
別府大	投手	池田史朗	3年	大分南	180	72	右	△ しなやかなフォームから両サイドに球がピンチを誘う。じわじわ成長曲線を描くタイプ

南部九州大学リーグ

沖繩国際大	捕手	新垣 碩人	4年	沖縄水産	173	73	右	△ スパーンと発射する猛速球で盗塁阻止して敵陣でベンチも意識消滅。打つも勝負強い小技も巧み
鹿児島大	投手	藤田 遼	4年	八代	176	78	右	△ 力と技をバランスよく使い分けて打者を驚かせるクレバー右腕。打っても勝負強い
鹿児島体育大	投手	森田 希夢	4年	清丈	175	79	左	△ ピンチ球と浮き上がるようなキラキラの快速球がさく裂。変化球の散りはめめもヨシ
	二塁手	山口康太郎	3年	広津	167	70	右	△ まるで次のプレーを知っているかのような攻守の熟練度。洞察力・思考回路がハイレベル
熊本学園大	三塁手	古岡健太郎	4年	熊本大	178	70	左	△ スイング軌道の、球の受け方、打球の質に天性のセンスがある。三塁手としても思いに
第一工科大	一塁手	田中 天晴	3年	日南学園	184	80	右	△ ちょっと甘く入れば、一気に叩き込んでしまうハンドパンチャー。勝負強さも増している
東海九州キャンパス	右翼手	長尾 一輝	4年	都城東	180	82	右	△ 指に掛かればミッキにズドン。スライダも鋭く軌道。あとは安定感とアクセントを
	右翼手	川島 樹	2年	東大熊本県本	185	80	右	○ いまより神奇行きを決めるヤノヲヲ打。さらにスイング軌道を改善して広角より遠くへ
宮崎産業経営大	投手	松本 航輝	2年	必由館	176	75	右	△ 社会人相手にバットを折る球威に加え、粘り強さも兼ね備える。緩急を身につけた
	二塁手	平尾 啓竜	4年	宮崎西	174	73	左	△ 小技だけじゃなく大技もある恐怖の2番打者などないか。高校が投手だっただけに肩力も
	中堅手	松田 龍司	3年	れいめい	177	74	右	△ 強打者の空振りや落ちつつ、技巧派投手ならではの打撃の巧みさも備える。スピードも

※このリストはP.217から始まります。

高校野球選手名鑑

大学野球選手名鑑

社会人野球選手名鑑

独立リーグ選手名鑑